

株主各位

第23期定時株主総会 事前質問への回答について

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第23期定時株主総会開催に先立ち、ウェブサイト等にて多数のご意見、ご質問をお寄せいただきました。主なご質問について、下記のとおり回答申し上げます。

今後とも弊社グループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

質問①	バーチャルオンリー総会の検討について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■会場を用意せず、オンラインのみで開催する株主総会のことを「バーチャルオンリー総会」といいます。 ■株主の皆さまにとって、お住いの場所を問わずオンラインで出席できる一方、インターネット環境を持たない株主さまが出席できない、また万が一通信が途絶した場合は、ご承認いただいた決議が取り消しとなる可能性がある、といった課題があります。 ■今後とも、株主の皆さまのご意見や法改正の動向等、内外の環境変化も見ながら、より良い株主総会の運営方法を検討してまいります。
質問②	日産自動車株式会社との取引方針について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■個別のお取引に関する回答は差し控えさせていただきます。 ■日産自動車株式会社は、日本を代表する自動車メーカーであり、部品等を供給するサプライヤーを含め日本の自動車産業を支える重要な存在と認識しています。 ■〈みずほ〉としましては、日産自動車株式会社の経営再建の状況を注視しながら、適切な支援を実施してまいります。
質問③	預金通帳の改善について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■キャッシュレス決済の浸透など、デジタル化の進展は著しく、それに伴って、銀行を利用するお客さまのニーズも変化しています。そうした背景から、みずほでは「通帳レス」「印鑑レス」「ペーパーレス」を実現する「みずほe-口座」を導入しております。紙の通帳に変え、デジタル通帳にすることで、通帳を保管する手間をなくすだけでなく、盗難リスクを避けることにもつながります。 ■現在、新規にお口座を開設される方の約83%がe-口座を選択されており、非常に高いニーズがあることを実感しております。 ■今後も、デジタル化の進展や社会環境の変化等も踏まえ、商品サービスの見直しを行ってまいります。

質問④	米国の政局変化を踏まえた DE&I の推進について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 〈みずほ〉では、年齢や性別、国籍等の多様な背景・経験・価値観を持つすべての社員が、一人ひとりの個性を「強み」として活かし、自分らしさと能力を最大限発揮できる環境づくりを行っています。 ■ 米国の動向に関しても、法律や規制に対して、常に最新の情報を収集し、各国・各地域の法令順守を基本としつつも、すべての社員が自分らしく輝き、〈みずほ〉の一員として働くことにやりがいと誇りを感じられる職場を提供することに努めてまいります。

質問⑤	配当金の決定プロセスについて
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 期末配当は 2025 年 5 月 15 日の取締役会にて決議しております。 ■ 〈みずほ〉は国際的に活動する金融機関として、複雑な金融規制の順守を要請されております。配当については、規制動向を踏まえながら、経済やビジネスの状況・見通しも考慮した慎重な判断が求められることから、定款に基づいて委任を受けている取締役会にて社外取締役とも議論の上、決定させていただいております。

質問⑥	不正防止に対する取り組みについて
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 〈みずほ〉は、金融機関としての社会的責任と公共的使命の重みを常に意識し、国内外の法令などを遵守のうえ、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を実践することを経営の基本原則と位置づけております。 ■ そのため、就業規則や各種ルール等の役員・社員への徹底に加え、各部室店での点検やコンプライアンス部門などによる検査・監査等の牽制態勢を構築し、不正行為の防止に取り組んでおります。 ■ これからも株主の皆様の信頼に応えるべく、コンプライアンス態勢の整備・強化に不断に取り組んでまいります。

質問⑦	取締役会の適切な人数および取締役候補の選定について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役会は、グループにおける戦略の方向付けを行うとともに、〈みずほ〉および〈みずほ〉が経営管理を行っている子会社等に対する、ガバナンス機能を適切に発揮する役割を果たすことが重要と考えております。 ■ 〈みずほ〉にはない複合的・多様な視点を有する「社外取締役」と、〈みずほ〉のビジネスモデルに精通した「社内取締役」の最適なバランスにより構成されており、取締役選任基準および取締役会全体として備えるべきスキルを定め、候補者を選定しております。 ■ 社外取締役・社内取締役のバランス、取締役会が備えるべきスキルの観点より、取締役候補は適切な構成となっているものと考えております。

質問⑧	取締役の具体的な業務内容について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役会は、法令上、取締役会の専決事項とされている経営の基本方針等の業務執行の決定、取締役および執行役の職務の執行の監督を主な役割としております。 ■ 取締役は、グループ CEO、その他の執行役、または他の取締役等から報告・説明を受け、必要に応じて質問・指摘・指示等を行うこと等により、監督ならびに委員会の職務を遂行しております。

質問⑨	役員報酬（報酬水準、決定プロセス）について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役・執行役の報酬水準は、毎年報酬委員会において外部専門機関によるマーケット調査や競合他社等の動向等を踏まえた検証を行い、必要に応じて見直しを実施しております。直近の検証では、みずほフィナンシャルグループの報酬水準は妥当と評価しております。 ■ なお、報酬委員会は、〈みずほ〉の経営から十分に独立した立場にある社外取締役が中心となり、役員報酬の客観性や透明性を確保しております。

質問⑩	公益財団法人日本サッカー協会へのスポンサー活動について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 〈みずほ〉では、ブランドイメージ向上の取り組みの一環として、各種スポーツへの協賛活動を行っております。また、「〈みずほ〉の企業行動規範」において、国際的に認められた人権を尊重して行動することを約束しており、スポーツ協賛活動においても、〈みずほ〉の人権に対する取組方針をもとに適切に対処しております。 ■ なお、〈みずほ〉は、サッカー日本代表のメジャーパートナーですが、日本サッカー協会が発表している日本代表選手の選出等に関与する立場にありません。

質問⑪	ベトナム銀行とお取引について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別のお取引に関する回答は差し控えさせていただきます。 ■ 〈みずほ〉としましては、ベトナム銀行が持つ、ベトナム国内拠点網や各種情報を活用した総合的な金融ソリューションの提供を通じ、お客さまの事業展開をサポートしてまいります。

質問⑫	マレリ株式会社への与信管理体制について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別のお取引に関する回答は差し控えさせていただきますが、自動車業界が未曾有の変革期にある中、2022年の再建計画策定時に比べて、生産台数が低位に留まっていることが要因の一つと認識しています。 ■ 〈みずほ〉の与信判断につきましては、案件組成・審査・期中管理といった LBO ローンを取り扱う上で、基本となる考え方の明確化・ルール化等を実施し、規律ある与信判断・モニタリングを行っております。

質問⑬	〈みずほ〉グループの人事制度について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 〈みずほ〉のグループ横断での人事制度〈かなで〉は、「戦略人事の徹底」と、「社員ナラティブの重視」といった2つの柱から構成されており、戦略人事においては、ビジネス戦略に沿った人材の確保・育成を徹底するとともに、社員ナラティブにおいては、社員が自分らしく輝けるようなチャレンジを後押ししています。 ■ そのため、適所適材、適材適所を徹底しており、出身行といった属性を考慮した運用は行っておりません。

質問⑭	ダイレクトアプリについて
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ みずほダイレクトアプリは、お客さまからいただいたご意見を反映し、さらに簡単で快適に、多様なサービスをご利用いただけるよう改善に努めています。 ■ 昨今の金融犯罪等を踏まえ、セキュリティ面では安全性と利便性のバランスを重視し、お客さまが安心してお取引いただけるよう整備を進めています。 ■ 今後も、快適で安全なサービスの提供に向けて取り組んでまいります。

質問⑮	生成 AI の利用およびその情報漏洩への対策について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 〈みずほ〉では、2024年12月に「〈みずほ〉の AI に関する取組方針」を公表し、進化する AI 等のテクノロジーを積極的に活用し、顧客利便性・生産性の抜本的な向上、新たな価値の創出に取り組んでおります。 ■ 生成 AI 利用においては、入力した情報の外部への漏洩を防ぐため、専用環境の生成 AI を利用しております。この生成 AI は、情報を再利用しない契約を締結しており、システムに入出力した情報が流用されないよう制御しております。 ■ 今後も、情報資産の適切な保護と利用のための態勢を整備してまいります。

質問⑯	今後の株価展望について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中期経営計画の最終年度目標を1年前倒し、24年度中間決算にて16年ぶりの自己株式取得（1,000億円）を実施、24年度決算でも5期連続の増配に加え、自己株式取得（1,000億円）についても公表するなど、株主還元を強化しております。これらの実績から、資本市場からの期待も着実に拡大しているとの認識でございます。 ■ 資産形成・資産運用、国内法人ビジネス、グローバル CIB などの領域においてビジネスの伸長余地はあり、〈みずほ〉のバリュエーションは依然として大きな伸びしろがあると考えております。ROE（自己資本利益率）の向上等を通じて、株価指標として重視する PBR（株価純資産倍率）は1倍達成にとどまらず、グローバルピアに伍する水準を目指してまいります。

質問⑰	中小企業との取引時の考え方について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営環境の変化を受けて、日本の中堅・中小企業のお客さまが抱える課題がますます多様化する中、「お取引先の更なる企業価値の向上」、「未来に向けた新たな企業価値の創造」、「その企業価値や技術の伝承」を大切にしております。 ■ それぞれのお客さまとしっかり向き合い、〈みずほ〉ならではの付加価値を提供することで、日本の国力向上に貢献してまいります。

以上